

# ウトナイ湖通信



No.229

2023年6月号



例年5月下旬～6月上旬、湖岸沿いのズミの花が一斉に開花する

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。そのほとりにあるウトナイ湖野生鳥獣保護センターから、情報をお届けします。

## 6月のイベント情報

### お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

日時: 6月11日(日)10:30～11:30

内容: レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内するガイドウォークです。\*荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

定員: 先着10名程度

対象: 小学生以下保護者同伴

事前申込: なし。直接当センターへ



### ボランティア体験講座

～ボランティア活動と初夏の自然情報収集調査体験～

日時: 6月25日(日)9:30～12:00

内容: 前半は当センターのボランティア活動やウトナイ湖の説明、後半は屋外で自然情報収集調査を体験いただきます。ご希望の方は受講後に当センターボランティアとしてご登録していただけます。

定員: 申込先着5名程度

対象: 高校生以上

申込: 6/1～6/24まで、  
電話で当センターへ



\*当センターのボランティアは本講座を受講した方のみ登録いただけます。

### 市民ギャラリー



### バードカービング展

会期: 5月17日(水)～6月29日(木) 展示: 宮本 健市 氏

内容: ホオノキを彫って作った等身大の野鳥の他、アイヌ模様を施した弦楽器など。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 / 道の駅となり

開館時間: 午前9時～午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムーくん



～ウトナイ湖～

・国指定鳥獣保護区特別保護地区  
・ラムサール条約湿地  
・東アジア・オーストラリア地域  
・フライウェイ・パートナーシップ



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



## ビンズイ

### 原因：人工物への衝突



体重 23g

保護時の様子



リリース直前の様子

5月12日 建物の玄関前で飛べずにいたところを発見され、保護に至る。近くにガラス窓や壁があることから衝突したと考えられた。体の左側面を強打したのか、左側の顔面が腫れ、目を閉じ気味だった。



数時間保温・安静にて経過観察。顔面の腫れはまだ残っていたものの、目は開くようになり、飛翔にも問題なかったため、当日中にリリースとした。

### リリース

#### ビンズイ（スズメ目 セキレイ科）

全長16cm。雌雄同色で、頭部からの上面は緑褐色で、やや不明瞭な暗色の縦斑があります。下面は白く、胸から脇はやや黄色みを帯びたバフ色で、太く明瞭な黒い縦斑があります。夏鳥として北海道に渡来します。地動での行動が多く見られ、歩いて昆虫やクモなどを捕食します。

## トピックス



### 身近な野鳥カラスについて学ぶ

4月23日に、NPO法人札幌カラス研究会代表理事の中村真樹子氏を講師にお招きしセミナーを開催しました。今回のテーマは「カラスとゴミの関係」。カラスの生態を元にした、ゴミを荒らされないための対策等の私たちの身近な話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。



### ウトナイ湖・春の渡り鳥 DAY を開催

世界渡り鳥の日に合わせて、越冬地から渡ってきた野鳥の観察会、さえずりを覚えるカードの配布、渡り鳥の重さ体験等を行ないました。ボランティアチームが来館者に周辺を案内する初めての試みも大変好評で、多くの方に春ならではのウトナイ湖の自然を感じていただきました。





## ボランティアコーナー

自然ガイドをする際に、工夫していることはありますか？

その時期、その場所で観られる可能性のある野鳥の写真をラミネートして観察前に事前に紹介したり、観察場所では、その時の見られる植物の説明に加えて、別の時期にはどのような姿になるか等、参加者の皆さんがイメージしやすいように画像を使って紹介したりしています。

自然ガイドのどのようなところに「やりがい」や「魅力」を感じますか？

観察会での出会いは一期一会。

毎回新しい発見や、参加者さんとの新たな出会いがあります。ガイドと言うより参加者の皆さんと一緒にその場所、その時間を楽しませて頂いています。

長年ウトナイ湖の自然ガイドをされ、支笏湖や千歳でも自然関連の活動をされているボランティアの高橋さんに、インタビューしました。

【自然解説の工夫】高橋 直宏



参加者にウトナイ湖の植物を説明する高橋氏

## 【ウトナイ湖・クイズ】

ウトナイ湖 お楽しみコーナー

「ホーホケキョ♪」で有名なウグイス。

大きなさえずりの声ができるものの、すぐに茂みに隠れるため姿が見つげづらい野鳥です。さて、ウグイスはどちらでしょう？（ヒント：ウグイス色にだまされないように♪）

「ホー、ホケキョ！」

は繁殖期にウグイスのオスがメスへのアピールや、縄張りの主張で出す「さえずり」という声です。



※答えは4ページの下にあります。

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



Twitter





# レンジャーのおすすめ自然情報

エゾハルゼミやトンボの仲間などの昆虫類が見られるようになり、続々と咲く湿地の花々も楽しめます。特に、観察路に白い壁のように咲くズミの花は一見の価値あります。

野鳥たちは子育ての季節です。巣立ったばかりのヒナも見られはじめます。観察時にヒナが地面にいるのを見かけても追いかけて、捨ったりしないようにしましょう。ほとんどの場合、親鳥が近くで見守っています。



【シオヤトンボ】  
大きさは41~45mm  
写真は成熟したオス。メスや未成熟のオスの体色は黄色と黒の模様。



【エゾハルゼミ】  
大きさは38~43mm。  
5月下旬頃から「ミョーケー、ミョーケー、シリリリ」と鳴く。右下は幼虫の抜け殻。



【ズミ】  
5月下旬から6月上旬に2cmほどの白い花を咲かせる樹木。湖に近い観察路沿いに多く生える。



【カラコギカエデ】  
5月下旬から6月に5~7mmの花を咲かせる。湿地や原野に生える樹木。花は甘い香りがある。

## ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



Twitter

## 自然観察路ガイドマップ【春】



### 春のお薦めポイント

3月の早朝、湖では数万羽のマガンのねくら立ちが見られます。  
4月中旬から、林の中では次々と渡ってくる夏鳥たちの賑やかなさえずりが聞かれるようになります。  
4月下旬には、はるばるオーストラリアからオオジシギが渡ってきます。  
5月下旬、自然観察路の木道沿いにはズミの白い花が満開になります。